

29日 木曜

伝道者の書



10:12 知恵のある者が口にすることばは恵み深く、愚かな者の唇は自分自身を?み込む。
10:13 彼が口にすることばの始まりは、愚かなこと、彼の口の終わりは、悪しき狂気。
10:14 愚か者はよくしゃべる。人はこれから起こることを知らない。これから後に起こることを、だれが彼に告げることができるだろうか。
10:15 愚かな者の労苦は、自分自身を疲れさせる。彼は町に行く道さえ知らない。
10:16 わざわいなことよ、あなたのような国は。王が若輩で、高官たちが朝から贅沢な食事をする国は。
10:17 幸いなことよ、あなたのような国は。王が貴族の出であり、高官たちが、酔うためではなく力をつけるために、定まった時に食事をする国は。
10:18 怠けていると天井が落ち、手をこまねいていると雨漏りがする。
10:19 パンを作るのは笑うため。ぶどう酒は人生を楽しませる。金銭はすべての必要に応じる。
10:20 心の中でさえ、王を呪ってはならない。寝室でも、富む者を呪ってはならない。なぜなら、空の鳥がその声を運び、翼のあるものがそのことを告げるからだ。

この世は神様が創造されたのだということを表すには、私たちクリスチャンが創造の秩序に則って生きて、神様の祝福と栄光を表すのが一番です。それには愚かな者ではなく知恵を持った者として生きることです。それは学歴や能力や経験といったこの世のこととは違います。神様のみこころに叶うという知恵です。

ですからここにあるように、「恵み深い」ことばを口にしましょう。また国の権威者が「幸いな国づくりをするように祈り、またみこころに沿って社会参加していきましょう。そして「なまけ」ことなく、生活の修繕や管理をしっかりとすることによって、神様から与えられた時間や財などを活かしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

